

# 『時事直言』 No.1640 2023年11月24日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

## 能ある鷹は爪を隠す(鄧小平)

これは江沢民も鄧小平も基本理念とした鄧小平の教訓である。

ところが習近平は一転して「能ある鷹は爪を出す」に転換したばかりでなく、中国経済に高成長をもたらした鄧小平の「改革開放」まで無視した。

習近平政権になってから従来中国へ投資していたアメリカ、欧州の資金が中国から逃避し始め、止まらなくなっている。

今や中国経済は斜陽化し、人民解放軍も人材不足と怠慢さから軍の近代化に支障をきたしている。

こうした現実には習近平にとって予想外であった。

しかし現実には現実なので、習近平は戦狼外交の筆頭であった秦剛外相を解任し、同じくタカ派の人民解放軍のトップ4人を更迭するなどオオカミから羊に変わろうとしている。

習近平は11月15日の米中首脳会談で表向き貫録を示したが、裏に回れば中国経済も人民解放軍も到底アメリカに太刀打ち出来ない弱さを抱えている。

アメリカもFRBが長期利上げのドル高政策を続けている為リセッションに陥りかけたが、日銀を筆頭に世界からの資金流入で何とかハードランディングを避けている状況であるが、一方財政の方は潜在的破綻状態である。

アメリカはガザで人道無視の戦争犯罪的侵攻を断行するイスラエルを静止出来ず、イスラエルと一蓮托生だと世界の批判を浴びている。

米中共に冷戦をやれる状況ではない。

同じ問題を共有する米中が「同病相哀れむ」の方向に流されている。

本日入稿する小冊子 Vol.137 で、アメリカ、イスラエル、そしてなんとイランまでが阿吽の呼吸で繋がっている事実と、世界が重大な転換を迫られている目に見えない流れを分かり易く解説した。

### 大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

#### いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）  
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。